

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2020.11.1
No. 363

掲載記事は10月21日時点で作成しています。新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 11月住民健診／うき“歯”の検診
- 4～7 令和元年度決算報告／うきは市総合計画パブコメ募集
- 8 会計年度任用職員・子育て世代包括支援センター職員（助産師・保健師）募集／井戸水の水質検査
- 9 産前産後期間の国民年金保険料免除 ところの健康相談など
- 10 暮らしのカレンダー
- 12 暮らしの情報
- 15 図書館だより
- 16 感染拡大防止対策支援金
- 17 外国人材受入企業相談会／コロナ対策中小企業・小規模事業者緊急支援金／農地の売買・貸借
- 18 落ち葉・雑草の堆肥化講習／犬を飼う時の「義務」／野外焼却の禁止
- 20 お誕生日おめでとう／まちの話題

今月の表紙



大石小学校6年生租税教室

税金は、学校、警察、消防、道路、公園など、私たち個人や民間の団体だけでは行うことができない公共サービスや公共施設の維持など、皆が安心して生活していくための主要な財源です。

そこでうきは市では、次の世代を担う小学生や中学生の皆さんに税金への関心を高め、税金の意義や役割を正しく理解してもらうため、市域内の税務署などと協力して設置している「租税教育推進協議会」の一員として、税務に携わる市役所の職員が派遣講師となり、「租税教室」を行っています。

授業の最後に、講師が「小学校生活でかかるお金は20人で約1億円です。これを税金でまかっています。教科書をはじめ遊具や道具は税金で準備をしているため、大切に使うてください」と児童に伝え、授業終了後には、1億円の重み（約10キロ）を感じていました。

～租税教室で感じたこと 6年1組 浦純蓮さん～

ぼくは特に、税金の使われ方について集中して聞きとり、税金は便利・豊か、教育、安全・安心、福祉のことに関係していて役に立っていることを知りました。他にも税の種類は50種類もあり、国、県、市町村に集められ人々の生活にとっても役立っていました。

そして、税はだれかを助けるためにあることを知ったので、税をはらい、みんなのこのためになると考えて頑張っていきたいです。税はいい未来につながると思います。税金の大切さを教えてくれて本当にありがたうございました。